

2009年12月24日

各 位

オリックス自動車株式会社

## 大阪府豊中市とカーシェアリング事業で連携 ～大阪モノレール千里中央駅下、他2箇所にかーステーション設置～

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：三谷 英司）は大阪府豊中市と連携し、豊中市地球温暖化防止地域計画の1つである自動車の利用抑制と公共交通機関への転換促進を具体的に推進するため、2010年1月15日より豊中市内でカーシェアリング（\*1）事業を開始しますのでお知らせします。

今回、大阪モノレール千里中央駅構内と駅北側に2台ずつ、阪急豊中駅南側に1台、合計5台のカーシェアリング車両（\*2）を設置します。カーシェアリング拠点をターミナル駅周辺に設置することで、自動車の利用や保有の抑制を図り、CO2排出量の削減を目指します。

同駅周辺に住むマイカー所有者は、カーシェアリングに切り替えることで自動車保有にかかるコストを削減できます。同駅周辺に目的地のある訪問者は、最寄駅まで電車を利用し、駅からカーシェアリングを利用することで、渋滞回避やコスト削減が可能となります。その結果、豊中市全体での自動車の利用が抑制され、環境改善につながります（\*3）。

オリックス自動車では、2002年からカーシェアリング事業を展開し、現在は東京都、神奈川県、千葉県、愛知県、三重県、京都府にて展開しています。2010年3月末までに大阪府内でも拡大を図り、関西エリアのネットワークを強化していきます。その中で、「長距離間は鉄道で移動し、目的地付近でカーシェアリング車両を利用する」という欧州式の利用方法（\*4）を目指しています。主要な沿線各駅周辺にカーシェアリング拠点を設け、環境面に貢献できるだけでなく、お客さまの利便性が飛躍的に向上すると考えています。

オリックス自動車では、今後もカーシェアリング事業を通じ、地球温暖化をはじめとした環境問題に真摯に取り組んでまいります。（\*5）

以上

\*1～5については別紙へ記載のとおり

【本件に関するお問い合わせ先】  
オリックス自動車株式会社 社長室：矢崎・滝川  
：03-6436-6030

## 【補足資料】

新設ステーション住所

千里中央第2立体ステーション

豊中市新千里東町1 - 4 - 4

(千里中央第2立体駐車場3階)

大阪モノレール千里中央駅ステーション

豊中市新千里東町1 - 1 - 5

(大阪高速鉄道駐車場)

阪急豊中駅東側 岡上の町3丁目ステーション

豊中市岡上の町3 - 7 - 2

(神代モータープール No.3)



【写真】 大阪モノレール千里中央駅ステーション

### ( \* 1 )カーシェアリング

複数のクルマを多数の会員で共有(シェア)する仕組み。車両購入費や燃料代、税金、保険などの保有コストの削減が可能。最短30分、15分単位などでの利用が可能で、利用ごとに料金がナビ画面に表示されるため、自動車利用の抑制効果があります。

### ( \* 2 )カーシェアリング車両

無人での利用を可能にするために、カーシェアリング専用システムや IC カードリーダーなどが搭載され、利用者は IC カードで鍵の開錠・施錠を行います。

### ( \* 3 )カーシェアリングの環境改善効果

過去からさまざまな社会実験で環境改善効果が挙げられている。直近の事例としては、2008年11月から2009年2月まで京都府と共同で、京都府庁においてカーシェアリング導入実験を実施し、その際、参加者全体でカーシェアリング入会前と比較し自動車での走行距離が約15%削減されるなどの結果が出ています。

### ( \* 4 )欧州式の利用方法

カーシェアリング先進国であるスイスおよび他の欧州都市では、既に1枚のICカードで路面電車、バス、タクシー、カーシェアリングが利用でき、都市内のさまざまな交通手段を簡単に選択することができる仕組みとなっています。

### ( \* 5 )カーシェアリング事業を通じた環境取り組み事例

オリックス自動車のカーシェアリング事業は、車両から排出されるCO2全てを相殺する自己事業活動型のカーボン・オフセットを導入しています。